

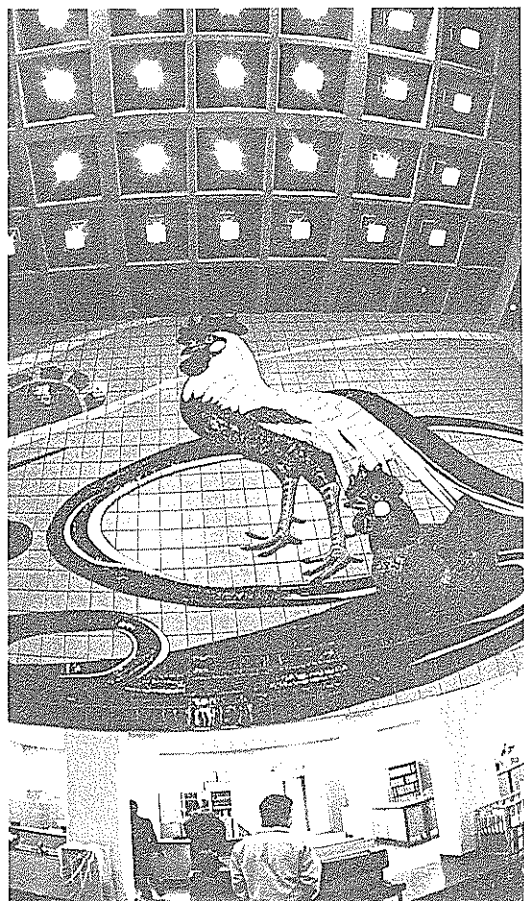
写真コンテスト

三枚組写真 伸びゆく

市長賞 1万円

岡本守正(大浦)

ダム建設で移転を余儀なくされ南国市に出てきて、はや4年になる。応募のため市内を廻ってみて改めて、その広いことに驚ろくとともにいたる所で大小の工場、住宅などの建築されるを見て、そのツチ音に新生南国市の若々しい息吹を感じた。なんといっても最近のビッグニュースは新庁舎の落成他市に恥じない立派な庁舎。なかでも、その壁面をかざる長尾鶏は伸びゆく南国市を象徴して余りあり、訪れる人の目を楽しませている。昨年、新聞を賑わせた公害問題、県空の玄関口としての空港拡張問題など、円満な解決をみて更に伸びゆく南国市の明日を期待する市民の一人である。



南国市

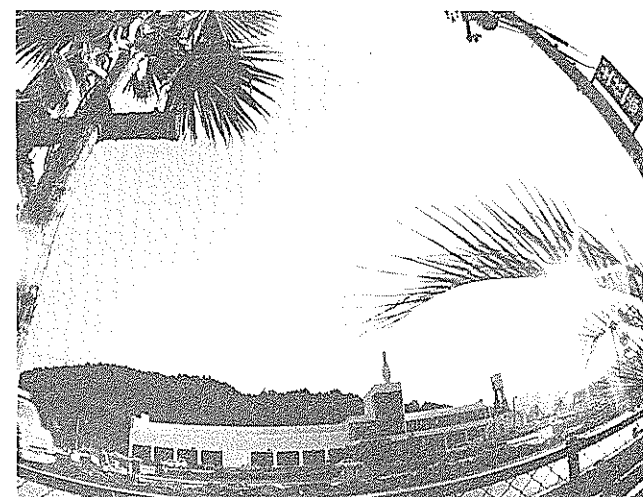
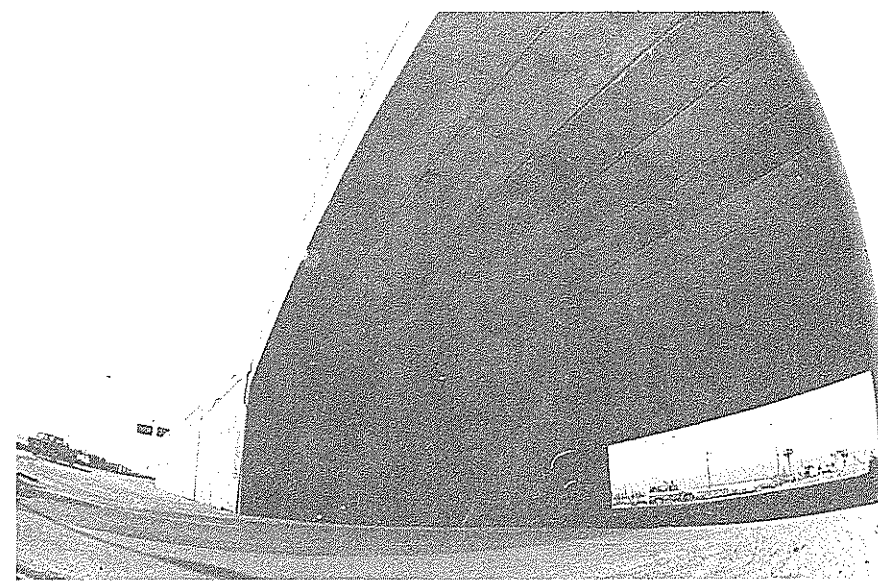
市庁舎の落成を記念して「伸びゆく南国市」を象徴する組写真を募集しました。

テーマの「伸びゆく南国市」が抽象的なため、三枚の組写真にまとめるのに大変苦労されたようです。

市は、写真の愛好者も多く、写真技術も大変すぐれているといわれていますが、応募者の少なかったことは残念です。

しかし、応募された作品は、いずれも見ごたえのある作品で、特殊な魚眼レンズを使って造型的な魅力をだすなど、苦労のあとがうかがえます。

田内文夫氏(大浦・45歳・商業)の「建設ラッシュがつづいている旧農業試験場跡」の写真など活気あふれる市の姿をみるようです。三枚組写真ということで、個々には良い作品もありましたが、全体的に「伸びゆく南国市」を象徴するものとして、岡本守正氏(大浦40歳・調理士)の作品が市長賞に選ばれました。



特選 5千円

田内文夫(大浦)

市の発展する姿を三枚の写真にまとめてみました。

その①は旧試験場跡に新しく官守街として生まれようとして行くビルの建設風景(写真下)を撮ってみました。②南国市の表玄関ともいべき高知空港にも続く立体橋を強調してみました。(写真上)③南国バイパスに面したスポーツレジャーの一つにレンズの目をむけて南国情緒を表現しました。(写真中)

